# 令和５年度　数学Ⅲ　シラバス

| 科目 | 数学Ⅲ | 単位 | 6 | 対象 | ３年普通科理系 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 目標 | 平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の修得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。 | | | | | |

学習内容・他の科目との関連

（１）平面上の曲線と複素数平面

平面上の曲線がいろいろな式で表されること及び複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。

（２）極限

数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。

（３）微分法及び積分法

微分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。

学習のワンポイント・アドバイス

事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすことが大切であるので、様々な課題に関心を持ち、解決に当たる必要がある。また、これまでに学習したことを基にして一般的な方策を見つけ、それを用いて適切に処理する能力を伸ばす学習態勢をつくる事が大切である。

評価の方法

次の（１）～（５）を総合的に判断して評価します。

（１）定期テスト、課題、その他小テスト。

（２）授業に意欲的に参加し、演習などに対して率先して取り組んでいるか。

（３）授業の課題プリントなどがきちんと提出されているか。

（４）演習ノート、課題レポート等。

（５）遅刻・欠課等勤怠状況、日々の授業態度。

使用する教科書、教材等

（１）教科書（数研出版　改訂版　高等学校　数学Ⅲ）

（２）補助教材（数研出版　改訂版　チャート式　解法と演習　数学Ⅲ）

進路との関わり

（１）国公立大学理学部、工学部、医学部では必修科目である。

（２）琉大においても理学部、工学部、医学部では必修科目である。また、教育学部の教員養成課程の数学科でも必修となっている。

（３）県外私立大学の理系の学科では受験科目にしているところが多い。